

地域課題の解決に向けた取組

離島における木材利用の拡大に向けて

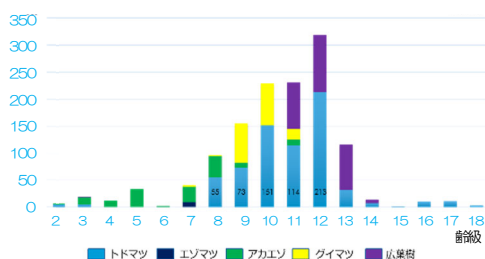
宗谷森林管理署

一 はじめに

宗谷森林管理署管内に、利尻島、礼文島の離島があり、北海道北部に位置しています。そのうち利尻島は利尻山が中央にそびえる北の浮島です。

利尻島は面積の約8割が森林であり、そのうち国有林は85%を占めています。人工林は林齢50年前後のトドマツが多く、利用適期を迎えています。

国有林（利尻島）の齢級別面積



二 地域の現状と課題

民有林及び国有林には利用期を迎えた人工林が

多くありますが、地元で伐採・搬出ができる林業事業体や木材を活用できる製材工場がありません。

そのため、伐採作業に必要な林業機械を島外から搬入する際や生産した丸太を島外の木材加工工場へ搬出する際に船舶を利用する必要があり、輸送コストが掛かり増しになるなど木材の販売が利益に結び付かない状況となっています。

森林整備と木材利用を進めるためには、適切な施業方法の普及定着、木材輸送の低コスト化及び木材の販路確保等が課題となっています。

三 課題解決に向けた取組

宗谷総合振興局林務課・森林室、地元自治体などの関係機関との課題解決に向けた取り組みについて紹介します。

令和元年度は関係機関に集まっていたいただき現地検討会を開催、島内の民有林や国有林の現況等を確

認するとともに施業方法や課題について意見交換を実施しました。

令和2年度はそれぞれの間伐対象林分の現地調査（ドローン撮影など）を実施するとともに、立木のままで販売する立木販売と請負業者が樹木を伐採し、丸太を生産する素材生産のコスト試算等の検討を行いました。



間伐対象林をドローンで撮影

四 今後の取組

これまでの取組や意見交換などで確認された課題等について、対応策を具体的に明らかにして、現地検討会等を開催し、地域の理解を深めたいと考えて

います。

また、民有林及び国有林の間伐対象林分から実施箇所の選定、事業実施方法、予算等の検討を具体化するにより、森林経営計画等の作成に取り組んでいきます。

五 おわりに

今後も取組を通じて宗谷総合振興局林務課・森林室、地元自治体と密接に打合せを行い、森林の適切な整備と木材の有効活用ができる仕組みを構築するとともに地域にその取り組みが普及できるよう進めてまいります。



宗谷総合振興局との打合せ